

会議報告

会議名称	「元気な入間」まちづくり推進・協働ガイドライン策定会議 第16回会議
開催日時	平成20年2月18日(月) 午後2時00分～6時00分
開催場所	市民活動センター 3階 活動室1
出席委員	渡部直也・鳥山政之・岩崎廣司・岡野 亘・亀谷容子・北田尚美・ 斎藤次雄・関谷佳代子・清水英弥・瀧澤良生・中澤 岳・ 原口喜代美・堀夫紗子・宮岡利幸・文字山啓子 以上15名
欠席委員	太田恵子・清水洋行・ アドバイザー犬塚裕雅
傍聴人	無し
事務局	大野課長・齋藤主幹(司会)・西澤主査
会議の概要 及 び 決定事項	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) ガイドラインの最終編集案について</p> <p>(2) その他</p> <p>[主な内容]</p> <p>○ 渡部会長</p> <p>今日は、全体のまとまった編集案が出た。3月の市長提言を目指して いきたい。皆さんの意見をいただいて成果をだしていきたい。</p> <p>議事</p> <p>○ 事務局から編集案のポイントについて説明</p> <p>○ 鳥山副会長</p> <p>最終編集案を各章ごとに見て、それぞれ意見を。また全体をとおして 総合的な視点から意見をいただきたい。など本日の手順の説明。</p> <p>○ 第1章の内容について意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめに」はすごく変わった。「行政」から「市役所」分かりやすい 表現になった。ただ、「市役所」は建物を指すので「市」でよいのでは ないか。 ・企業のCSRは「企業における社会貢献活動」新たな領域が入った <p>○ 第2章の内容について意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市役所」を「市」として読み替えたが違和感のあるところもある。

- ・「市」の行っている事務等が行政。
- 定義付け等も含めて「市」の表記は考える。
- ・「対等の原則」ただ対等だけだとわからない。読み方によっては失礼な表現になる場合もある。
- 「対等」の捉え方、元々国など色々なところで使われている表現。だが、「一緒に」、「ともに」という表現など考えてみる。

○ 第3章の内容について意見

- ☆ 「現状」と「課題」を分けていたが、「現状と課題」とした。
- ・ 設問と分析が詳しくなったのが良い。現状はまとまってスッキリした。
- ・ 難しい言葉、表記などがある。
- 表現、表記などわかりやすいものを考える。
- ・ 量が多くなると解りづらい。細かい統計数字は別表でもよいのでは。
- P 8(2)「自治意識の一層の高揚が必要」という表現は失礼では。
- 市民委員として市民にもきっかけとして必要だと思い入れたが、表現は考える。

○ 第4章の内容について意見

- ・ P 11(2)「市民と市それぞれの目指す協働」はそれぞれがバラバラなイメージ。
- ・ 「市民参加」と「市民参画」があるが、協働には「参画」がふさわしいのではないか。
- ・ 「行政依存体質から・・・」という表現はどうか。
- ・ ガイドラインは市民意識も変革させるものだから、表現は別にして、内容として必要。
- 「市役所任せの意識」などにする。
- ・ 基本方針の再検討が必要。「協働」「まちづくり」などキーワードは入れたい。
- 「協働でともに進めるまちづくり」(案)

○ 第5章の内容について意見

- ☆ 第4章の基本方向と第5章との整合性、第5章の「4」以降は最終編集に任せる。「5評価システム」の要検討の部分は第3部会で引き続き作成する。「4」「5」はマニュアルに近いもの。
- ・ 「進化する」という部分はどうなったか。
- 評価システムだけでなく全体に関わることなので、「おわりに」で触れている。
- ・ P 14の「協働の場の確保」は市民センターを支所、公民館などに作るのか。社会施設に従来のものを作っていくのか、また、従来のものを

いかして地域展開するのか考えておいた方が良い。
→ガイドラインとして方向性を提案して、行政上、法律などでできないものもあると思う。だが、方向性を示すものとして出していく。

- ・ある意味検討しておかなければいけない部分。市民としては協働の場が近くにあると便利。ただ、それで税金が上がるのではダメ。
- ・協働の場が多いのは良い。従来の枠だけでは少ない。
- ・3月中に提言し、今後の次のステップとして策定していくものなのか。
- ・そこまで出すかどうか議論したが、行政体質を変えていくということで提案している。
- ・①ガイド本部に入れる②検討資料として添付③次のステップで別に策定。いずれかの方法で。
- ・第5章については具体的記載のあるものにしたい。
- ・行政はどう連携していくのか。市民はどう連携していくのか。策定会議と市長だけではすまない部分がある。
- ・ガイドラインは、こうあってほしい。という指針。何年かかるかわからないが、市民と一緒にやってきて、希望として提示したい。

☆庁内のコンセンサスやパブコメを実施していったら、市長が発信するが、その時に「提供します」という表現は、50%、70%、100%どの位の実行力を持たせるのか。担当課には大きな影響が出る。

- ・ガイドラインとして、具体策は例示的でよいと思う。
- ・今まで「検討します」は10年そのままのものもある。まず、何をすれば協働が進むのか。書いてあるものはすぐ出来ると思ってしまう。
- ・「協働の場」が欲しいのか、「自分たちの活動の場」が欲しいのか。
- ・基本方針に「協働で元気に（明るく）進めるまちづくり」はどうか。

☆今日の意見を元に再編集し配信するので、再度意見をお願いしたい。

4. その他

- ・今後のスケジュールをメールで配信する。
- ・3月5日までに意見出しをお願いしたい。

5. 閉会

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

会 長 _____